

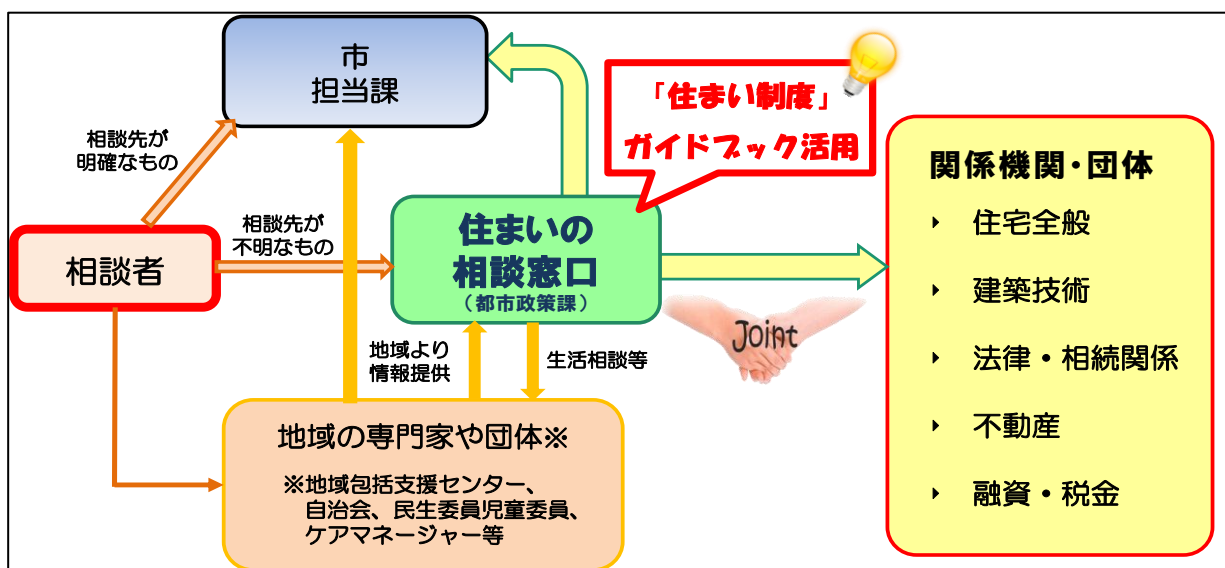
茅ヶ崎市空家等対策計画の施策の進捗状況について

(1) 住まいの相談窓口

「住まいの相談窓口」は、相談先が分からない等の「住まいに関する悩み」を持つ方に対し、相談内容を整理し、適切な担当課・関係機関・団体につなぐ、「住まいのポータルサイト」の役割を担う。また、必要に応じて関連する様々な制度や支援メニュー等の紹介も行います。

平成30年度の相談件数については158件で、そのうち空き家に関する相談は、空き家の利活用が15件、空き家の適正管理が25件となっています。（裏面参照）

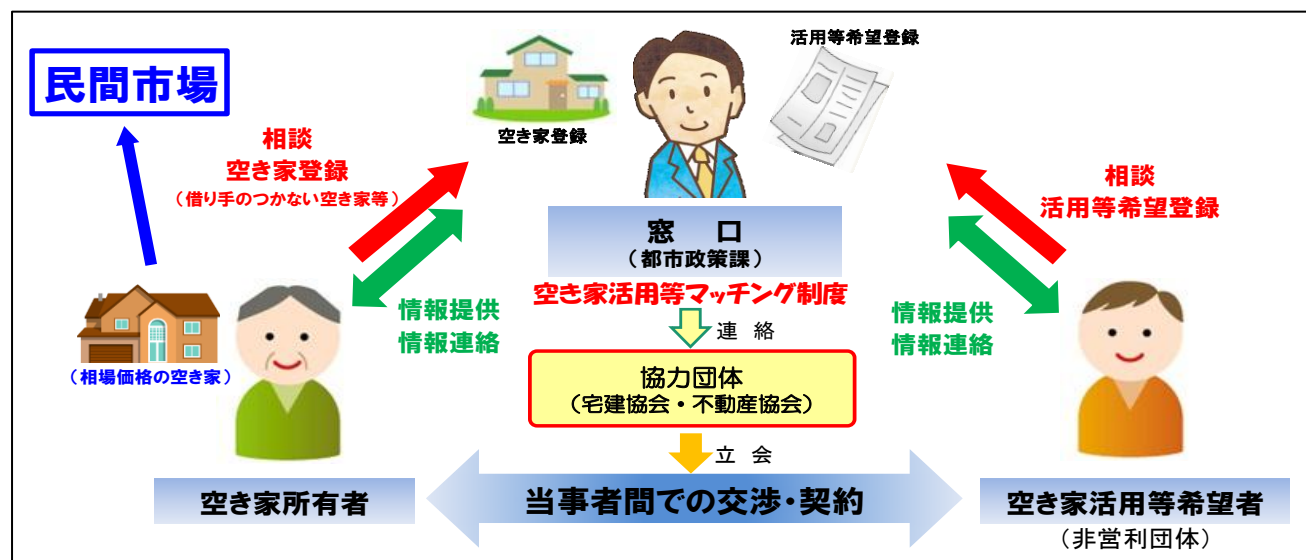
※空き家関係課（環境保全課・建築指導課・衛生課・予防課）で受けている、空き家に関する苦情件数は、平成30年度で102件となっています。



(2) 空き家活用等マッチング制度

「空き家活用等マッチング制度」は、「市場に流通していない空き家」や「市場での借り手のつかない空き家」等の所有者と、地域等の活性化や課題解決を図りたい「空き家活用等希望者（非営利団体）」をつなぎ、空き家の活用・流通促進や地域の活性化（地域コミュニティ）への「きっかけづくり」の役割を担う。

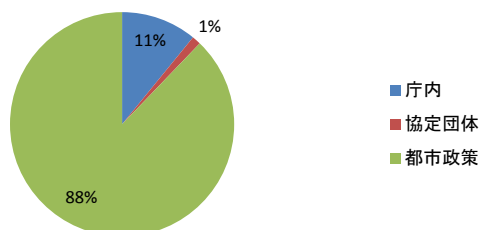
平成30年度の登録件数については、空き家所有者1件・空き家活用希望者1件となっており、マッチング件数は0件となっているが、非営利団体でない活用希望者等で登録に至らない相談件数は4件となっている。



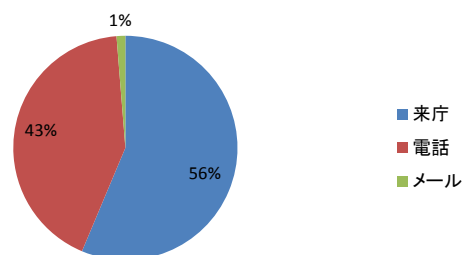
住まいの相談窓口受付(平成30年度)

資料1(裏面)

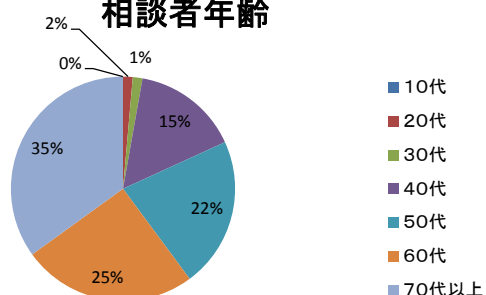
相談者の対応



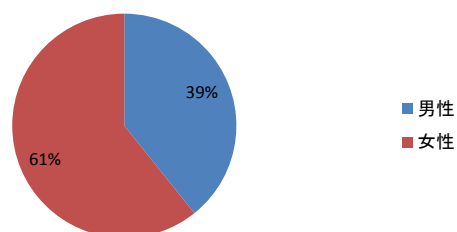
相談方法



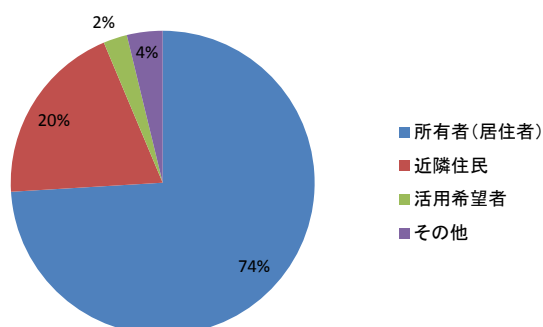
相談者年齢



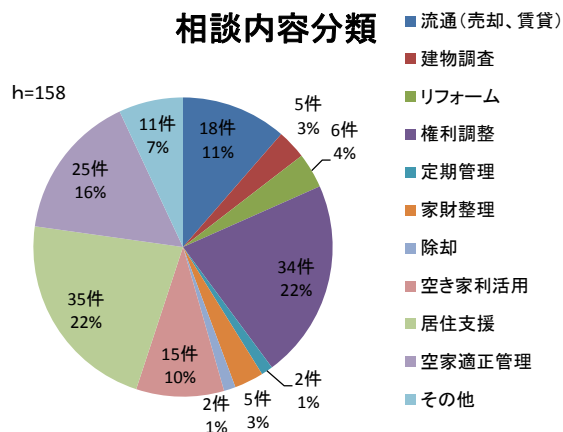
相談者性別



相談者属性



相談内容分類



協定団体繋ぎ先

